

## 入試対策プリント（確率）15日目 解答と解説

解答 (1)  $\frac{1}{6}$  (2)  $\frac{1}{9}$  (3)  $\frac{7}{8}$

2つのサイコロを同時に投げたときの場合の数は $6 \times 6 = 36$ 通り。

(1)  $a = b$  となるのは

$$(a, b) = (1, 1), (2, 2), (3, 3), (4, 4), (5, 5), (6, 6)$$

上記の6通り。

よって、求める確率は

$$\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$$

(2)  $10a + b$  が9の倍数になるのは36, 45, 54, 63の4通り

よって、求める確率は

$$\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$$

(3) 少なくとも1回は表が出るということは、1回も表が出ない場合を考える。

すなわち、3回ともに裏が出るときを考える。

硬貨を3回投げるときの場合の数は8通り。

そのうち、すべて裏になるのは1通り。

よって、少なくとも1回は表が出るのは $8 - 1 = 7$ 通り

したがって、求める確率は

$$\frac{7}{8}$$